



季節の花で県外客をお出迎え



郡新生会の皆さん



今年の春の様子

郡町交差点の角に道行く方々をお出迎えする花壇「恐竜モニ花壇」があります。

この花壇は、郡新生会の皆さんが協力して整備・維持されています。

以前からも恐竜モニユメント公園として恐竜のモニユメントの周りにサツキと少しの花壇を整備されていました。恐竜博物館に来られる県内外の方々をきれいな花々でお出迎えしたいと、令和4年度に花壇の面積を増やし、新たに「恐竜モニ花壇」と名づけました。これまで以上に花の種類を増やすため、植物の特性に合わせた土

づくりや植え方に試行錯誤を繰り返したそうです。

新生会の会員は33人で、そのうち10人ほどが中心となって活動されています。

会員の皆さんの思いが込められた新しい花壇は、「綺麗ですね。ご苦労様です」と声を掛けられることがあるそうです。「樹木の剪定や草取り、季節ごとの花の入れ替え、水やりなどはとても大変ですが、声や掛けられると嬉しくやりがいを感じます」と会長の多田さんは嬉しそうに話されています。



花壇を整備する様子

花壇は冬の時期を除き花が楽しめるよう整備されていて「花壇の近くを通った際は、ぜひお楽しみください」と会員の皆さんは花壇整備に汗を流されています。

勝山高校
コラム

「ひびきは空に」〜まこと真・誠・信〜

【学びの祭典】開催！

7月16日、「総合的な探究の時間」の集大成として、2、3年生がこれまでの探究の成果をジオアリーナで発表しました。県内大学の先生や地元企業や保護者の方、勝山市内の中学3年生も参加して、勝高生のポスター発表を聴きました。質疑応答も活発に行われ、自分の探究について熱く語る勝高生の姿がありました！



『探究note』はこちら

この夏も勝高生が全国で活躍！

【全国高等学校総合体育大会】

男子バドミントン部の宮川力也さん・田中天祥さんペアが、男子ダブルス競技の福井県代表として、7月31日〜8月4日に佐賀県のSAGAサンライズパークにて行われた全国大会に参加しました。



勝高HP

【全国高校生太鼓甲子園】

日本文化部が、ピデオ審査を経て予選を通過し、7月28日に静岡県富士山交流センターで行われた全国大会に出場し、見事2位にあたる「優秀賞」に輝きました！



【全国高等学校総合文化祭】

美術・工芸部門

芸術部の横山結香さんが、8月1・2日に岐阜県美術館にて行われた全国総合文化祭において作品展示および参加をしました。

勝高祭のお知らせ

テーマ▼混平糖(こんぺいとう)

混▼1年から3年が混ざりあって楽しむ

平▼フェアリーの精神で

「糖」砂糖のような甘い青春を味わおう

テーマには、勝高生ひとつとして

同じ形はない！一人一人を大切に

といった意味が込められています。

文化祭▼9月2日(月)・3日(火) ジオ

アリーナ、勝山高校第2体育館

体育祭▼9月4日(水) ジオアリーナ

ガラス細工でワクワクを届けたい



旅の雫 櫻井麻衣さん (36)
=滝波町4丁目=

滝波町に工房「*旅の雫*」を構えてガラス細工の作品づくりに取り組む櫻井さん。ガラス細工を手に取っていただいた方に、楽しんでもらいたいと15年以上ガラスと向き合っています。

櫻井さんがガラス細工を始めたきっかけは、姉に誘われて参加した体験教室でした。小さい頃からガラス細工に興味があったこともあり、仕事の傍ら、趣味でとんぼ玉(穴の空いたガラス玉)づくりに挑戦し始めました。ガラス細工づくりはとても繊細で難しく、風鈴を作るようになるまでには、吹きガラスの練習を始めてから10年くらいかかったそうです。そして、



美しいガラス細工の作品

「もっと作品づくりに没頭したい」と一念発起し、3年前に独立されました。

高温のガスバーナーを使用することから、夏には工房内の温度が40度以上になります。一つ一つを手作りしていることもあり、作品づくりに高い集中力が必要とされます。「思いどおりの作品や思いがけない作品ができた時だけでなく、なかなか思いどおりの作品ができないこともガラス細工の魅力です」と櫻井さん。

将来的には「ガラスの楽器を作って皆さんにワクワクを届けたい」と笑顔で話していました。

自然が大好きな櫻井さん。作品には、生まれ育った勝山の美しい自然の風景も取り入れられているそうです。

福井勝山総合病院 循環器内科
診療部長 佐藤 岳彦

失神の原因は？

病院で診療をしていると、失神で救急搬送、もしくは脳神経外科、循環器内科外来を受診される方がいらつやいます。失神とは、脳全体に十分な血液が供給されなくなるために、一時的に意識を失う症状のことです。突然意識を失い倒れますが、数秒から数分程度で速やかに、自然に意識が回復します。すぐに元通りに戻るため、軽視される場合もあるかもしれませんが、外傷を負ったり、入浴中の場合は溺れてしまったり、車の運転中に起きると交通事故により、自分や他人の命が危険にさらされることもあります。

失神の原因は、反射性、起立性低血圧、心原性に分かれます。反射性失神は長時間にわたって立っていた時や興奮した時、ストレスなどがきっかけになり一時的に血圧や脈拍が低下して起こります。また、ある特定の状況(排尿・排便時、激しい咳、嘔下、爆笑など)で起きる場合もあります。起立性低血圧は立ち上がった直後に血圧が低下し、心臓から脳に押し上げられる血流が低下して起こります。心原性失神は

不整脈、心臓弁膜症などが主なもので、脈が遅くなる不整脈の場合、数秒程度心臓が止まっていると気が失われます。また、著明な頻脈の場合も心臓が血液を効率的に送り出せなくなります。また、不整脈の原因として心筋梗塞などが原因となる場合もあります。

失神の症状のある患者さんには、心電図、心臓超音波検査、不整脈を疑う場合は24時間心電図(外来でできます)や植え込み型心電計(小さな機械を皮膚の下に埋め込みます)を使用する場合もあります。反射性失神を疑う場合はヘッドアップティルト試験(体を起こした状態で数分間、血圧や脈拍などを測定します)なども行う場合があります。

失神症状を放っておくと危険な場合もありますので、このような症状のある方は一度循環器内科を受診してください。

